

研究主題

協調して課題解決を目指す生徒の育成

～協働的な学習活動を通して～

1 主題設定の理由

本校では令和2年度から「他とのつながりの中で学ぶ生徒の育成」を主題として一貫して研究を進めており、アンケートや学力調査の結果から一定の成果を得ている。しかし、授業で自信をもって積極的に発言しない生徒が多いことや、家庭学習の取り組み方や学力に生徒間で大きな差があるといった課題が残る。

そのため、令和6年度の主題は継続し、副題を学習活動に絞って設定した。

まず基礎学力の向上を目指した学習会「基礎学力タイム」や、家庭学習の取組に関する研究を継続し、さらに昨年度までの課題に基づいて工夫し、改善を目指す。

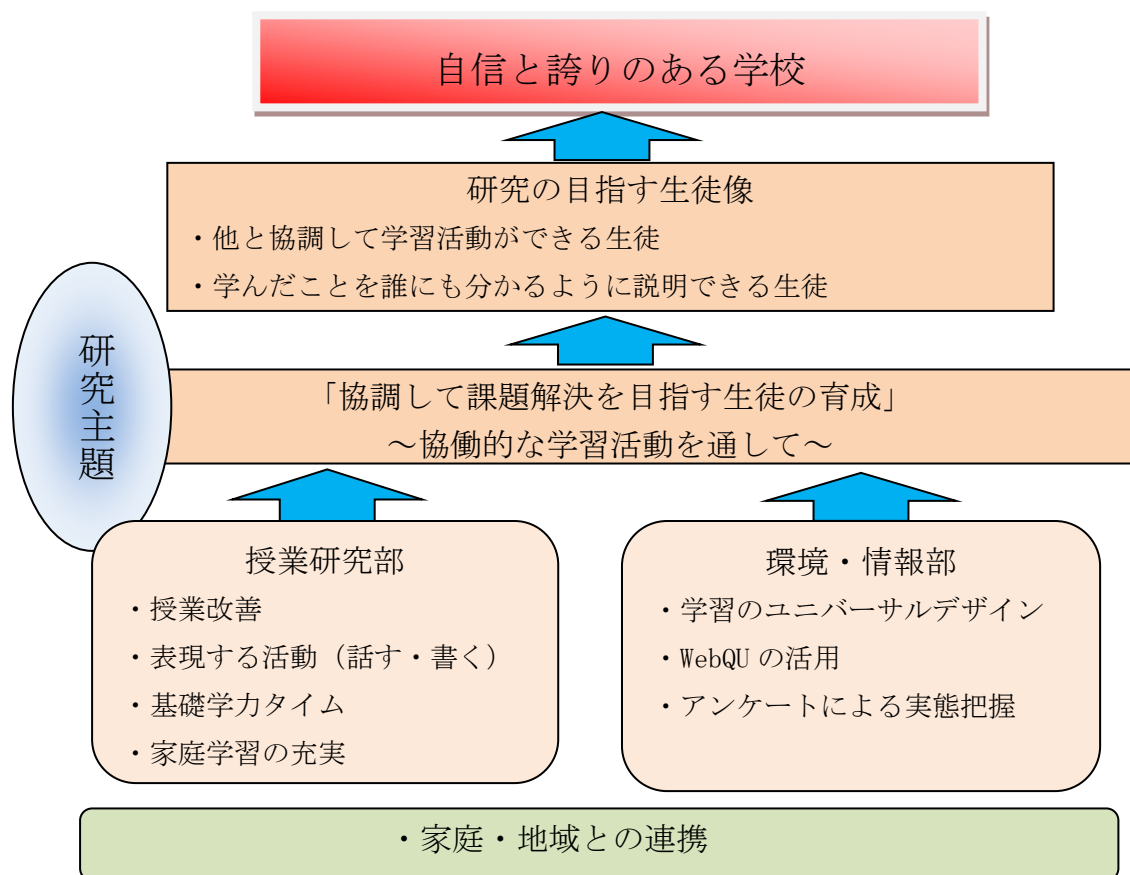
また、集団の中で積極的に発言したり、他の人の意見をよく聞いて自分の考えを深めたりできる協働的な学習活動に関する研究に力を入れる。

これらの研究を通して、本校の学校教育目標「豊かな心をもつ生徒を育成する」「確かな学力をもつ生徒を育成する」「心身ともにたくましい生徒を育成する」の達成に迫りたい。

2 めざす生徒像

- ① 他と協調して学習活動ができる生徒
- ② 学んだことを誰にも分かるように説明できる生徒

3 研究構想図



4 研究内容

(1) 各教科による授業改善

- ・生徒が主体的に取り組むことができる教材開発や授業形態の在り方。
- ・「学びあい」、協働的な学習活動のより良いあり方。
- ・「話したり・書いたり」と学んだことを説明する活動の奨励。
- ・研究授業の実施により、生徒観察の力を高める。

(各自1回実施、全体研究授業および授業研究会1～2回)

- ・各教科による、基礎的事項の洗い出しと指導法の工夫。
- ・基礎学力タイムの効果的な運用による生徒の基礎学力向上

(2) ユニバーサルデザインに基づく、より良い学習環境と集団力の向上

① 掲示教育の改善

- ・教室や校舎内の掲示物の配置

② アンケート、学力調査、WebQU の分析と活用

(3) 家庭と連携した基本的生活習慣の在り方

- ① 生活習慣の確立(食事・睡眠・メディアコントロール)
- ② 家庭学習習慣の確立

5 研究組織

① 研究推進委員会・・・校長・教頭・教務主任・研究主任・各研究部長により構成。

取り組みの方向付けおよび進行状況の確認。

② 研究部

<授業研究部>

- ・研究授業や授業研究会の企画運営
- ・「学びあい」学習の授業改善及び基礎学力タイムの活用法、家庭学習の改善。
- ・基礎学力向上を目指した各教科の取り組みの情報交換及び啓発

<環境・情報部>

- ・ユニバーサルデザインの視点に立った校舎や教室、掲示など
- ・WebQUの活用
- ・アンケートによる状況把握と分析等

③ 全体会・・・・・・授業研究会や研修会など全体の研修や、情報のシェアなど。

6 年間計画

月	研 究 項 目・内 容
4	○推進委員会(研究主題・研究内容の検討) ○全体会(研究主題の決定)
5	○推進委員会 ○2部会(本年度の活動計画作成)
6	○2部会(活動) ○研究授業スタート(2月まで)
7	○2部会(活動反省) ○授業改善アンケート
8	○全体会(全体研修会) ○各種研修会の伝達講習
9	○推進委員会(2学期の活動確認) ○2部会(2学期の活動確認) ○全体研修会<中心授業>(研究授業・授業研究会)
10	○2部会
11	○授業改善アンケート ○全体研修会<中心授業>(研究授業・授業研究会)
12	○2部会(2学期活動反省) ○推進委員会(2学期の反省と3学期の確認)
1	○2部会(活動計画確認)
2	○2部会(1年間のまとめ)
3	○推進委員会 ○全体会